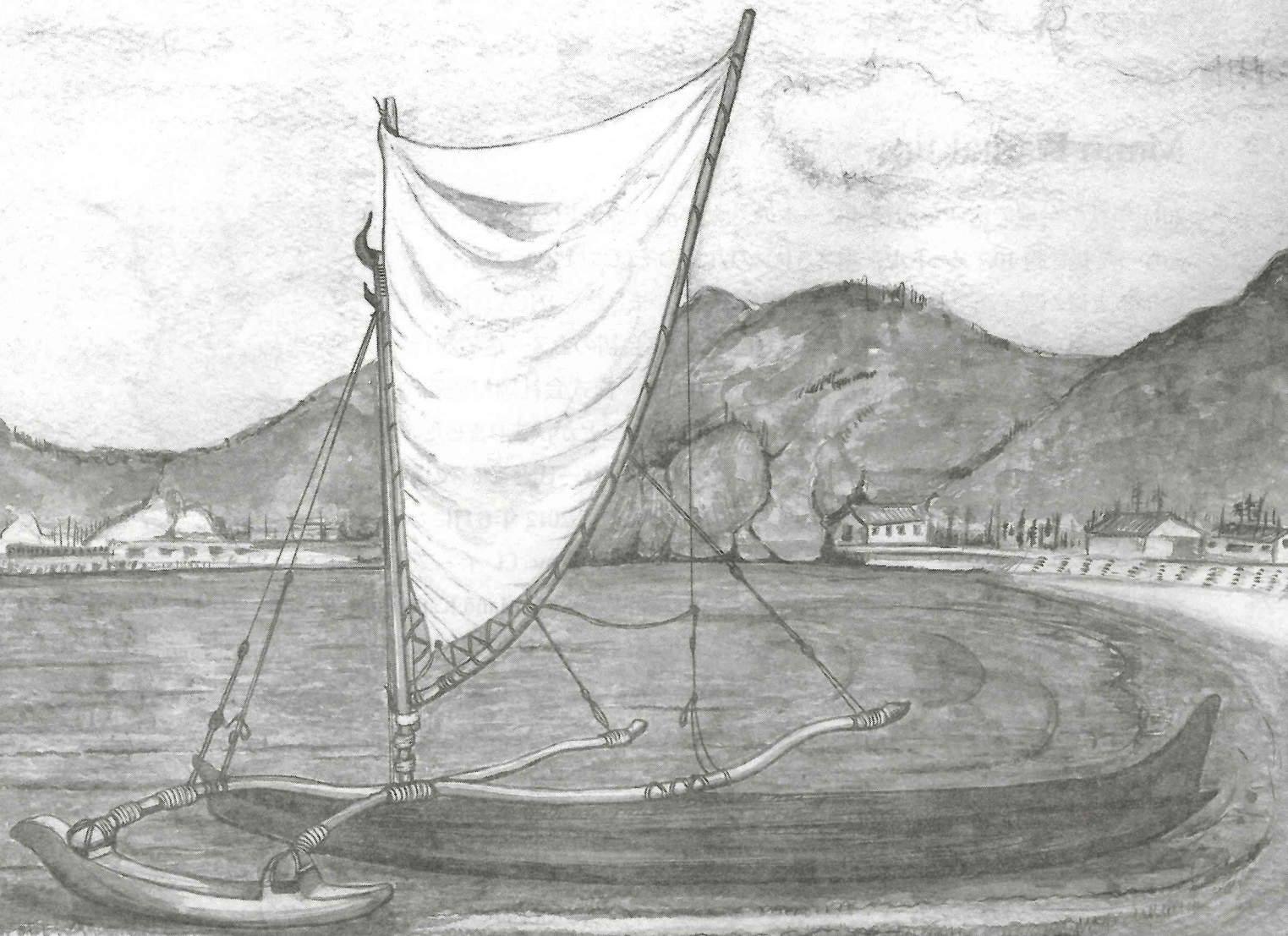


LAU HOE 2013 FUNDRAISING CONCERT in ENOSHIMA

～流れ着いた丸太がカヌーになるまでの物語～



JHCA創始者タイガー・エスペリが残した「日本でハワイアンカヌーを作ろう」という夢の種は2011年一本の丸太の姿となって伊豆の海に届けられ、2012年、多くの人々の協力を得て、"Manō Kamakura"というカヌーに生まれ変わりました。

このLAU HOE 2013 in ENOSHIMA FUNDRAISING CONCERTでは丸太がカヌーになるまでのスライドショー上映とハワイの伝統的なフラダンスを通してたくさんのお会いと不思議に満ちたこのストーリーをご紹介します。

11/2 (SAT) OPEN 12:00 START 13:00

会場：神奈川県立江ノ島女性センター チケットご予約・お問い合わせ：LAU HOE 2013 実行委員会
入場料：3000円 080-5090-0117(担当:松井田 10:00～18:00)
lauhoe@kamakurago.com

主催 NPO法人日本ハワイアンカヌー協会 WWW.KAMAKURAGO.COM

絵・小西 理恵子

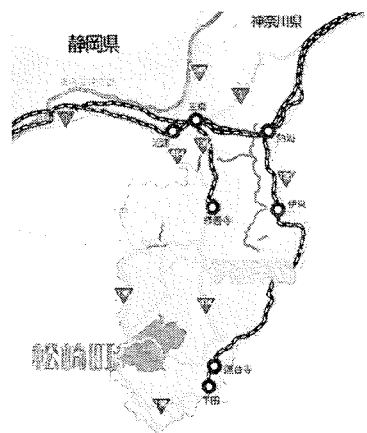
About Japan Hawaiian Canoe Association

“Japan Hawaiian Canoe Association” (JHCA 日本ハワイアンカヌー協会：本部 / 神奈川県鎌倉市) は PVS のメンバーであるハワイアンofsサーフレジェンド、Tiger Espere (タイガー・エスペリ) が発起人となり、1998年に設立されました。復元した古代カヌーを通じて、古来ポリネシアの価値ある優秀な技術や文化を広く日本に紹介すると同時に、いろいろな地方の文化を再発見し我々の次世代へとつなげるのを目標としています。広くボランティア参加者を募集するとともにこのプロジェクトの核となるカヌー“カマクラ号”の建造を企画推進するために活動しています。

Manō Kamakura

2011年秋の台風で南伊豆赤穂浦に一本の丸太が流れつきました。テトラにあがった長さ約10.7メートル、重さ5トンの丸太のそばには2匹のサメ(Manōとはハワイ語でサメのこと)が寄り添っていました。JHCA(NPO 法人日本ハワイアンカヌー協会)はこの丸太で同協会初のカヌー造船を行う事にしました。丸太は南伊豆から松崎町へ運ばれ、株式会社岡村造船や松崎町の方々のおかげで松崎町にてカヌーを造船することが決まりました。

2012年4月にはハワイ島の文化継承者タウポウリタンガロー氏とアイヌの結城幸司氏などによる安全祈願のセレモニーが執り行われ、2012年6月にハワイ島からカヌービルダー(カヌーを作る職人) Ray Bumatay (レイ・ブーマタイ)氏と彼の弟子たちを招き、6月と10月の2回の来日でManō Kamakuraは完成しました。2012年10月27日晴天の中、Manō Kamakura造船時にお世話になった多くの松崎町の皆さん、他県から訪れた多くの方々と共に無事進水式を迎えました。Manō Kamakuraは一本の丸太で作ったハワイアンセイリングカヌーとしては日本初となります。賛同して下さった多くの方々のご協力と寄付で生まれました。松崎でパドリング、セイリングの練習をした後、日本中を回って紹介していきたいと思っています。



松崎町おいしいもの物産展!

日頃お世話になっている西伊豆松崎町には
かくれたこだわりのおいしさがいっぱい!
是非この機会にお試ください!

Manō Kamakura の木片、
七里ヶ浜や伊豆の海でとれた
貝殻のオリジナルグッズ販売も
開催いたします!

一部を宮城県七ヶ浜町の復興に寄付させていただきます。

協力

Nā Lei O Pōpōhau ケイコ寺部

Nā Mea Hula 'O Kōnane 佐竹祥子

Ke Ānuenu Hula Studio 牛島敬太

Hālau Hula O Nā Kamali' I O Ka Lā 中富みさ

